

2018年1月13日土曜日
静岡新聞 朝刊 9面

県補助、UDタクシー出発 車内広々 車いすで乗車可



車いすのまま乗り降りできるUDタクシー12日前、県庁前

県の補助金制度を活用し、県タクシー協会（UD）タクシーの出発式が12日、県庁で開

かれた。2017年度は県内各地のタクシー事業者に計53台が新規導入される見通し。

今回納車された5台のUDタクシーは、いずれもトヨタ自動車の「ジャパンタクシー」。17年10月に発売されたタクシー専用車で、乗り降り便利な低床フロア、大口スライドドア、スロープを備える。座席周辺、トランクともに広々とした空間が特徴で、後部座席を折り畳むと車いすのまま乗車できる。

県の山口重則健康福祉部長や県車椅子友の会の青野全宏会長ら8人が試乗し、乗り心地を確かめた。県タクシー協会の三沢賢治理事長は交通弱者への接客技術を会得したUDタクシー運転手を順次養成する方針を示し、「車いすの方から県内観光の訪日客まで幅広く利用してほしい」と話した。

県のUDタクシー導入補助金は1台当たり10万円。国の助成制度とのセット利用を条件としている。県によると、市町単位では静岡市、浜松市、掛川市に助成制度がある。